

# 東京2020大会1周年記念事業 第35回はばたき陸上大会 申合せ事項

## 1 新型コロナウイルス感染予防対策

- (1) 新型コロナウイルス感染予防の一環として出場時間帯によって、入場者の入れ替えを行う。  
競技実施時間帯 午前の部10:00~12:00(入館時間9:00)午後の部14:00~16:00(入館時間13:00)とする。
- (2) 新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、待機場所の分散や競技参加時間に合わせた集合など各団体、個人での対応をとること。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、競技方法や招集方法等、運営に変更が生じる場合がある。
- (4) 自身の競技終了後は、速やかに退館すること。
- (5) 応援については、新型コロナウイルス感染予防対策の一環として原則禁止とする。
- (6) 体温が37.5度以上ある場合は、センターに入場できないため、大会事務局まで連絡すること。
- (7) 会場に入場前に、必ずセンターの入館前検査を通過してから入場すること。
- (8) 当日は申込み結果に同封されているセルフチェックシートを持参、提出すること。提出がない場合は、大会の出場は認めない。

## 2 ナンバーカードについて

ナンバーカードは主催者の用意したものを競技用シャツの胸部と背部につけること。  
車いす競技者の場合は競技審判員にわかりやすいように前面と背部につけること。  
走高跳に出場する競技者は、背または胸につけるだけでよい。

## 3 ウォーミングアップエリアについて

- (1) 練習場所については、庭球場をウォーミングアップエリアとし開放する。  
競技の行われていない場合でも、レーンへの進入及び、逆走は危険なのでしないこと。
- (2) フィールド種目の練習については、競技時間開始前に競技審判の指示に従って行うこと。
- (3) 庭球場でのスパイクの使用は禁止とし、スパイクの使用は運動場のみとする。
- (4) 庭球場内での練習については、必ず運営スタッフの指示に従って行うこと。

## 4 招集について

下記の時間に招集所に集合し審判員の確認を受けること。

トラック	20~10分前	フィールド	20~10分前
------	---------	-------	---------

## 5 競技について

全ての競技は2022年度版「全国障害者スポーツ大会競技規則集」ならびに本大会「申合せ事項」を適用する。

### 【トラック】

- (1) トラック種目の計時方法は手動時計を使用する。
- (2) トラック競技において同一区分でレースが複数となる場合は、各組ごとの決勝とする。
- (3) トラック競技で他の競技者を妨害した場合は、その競技者を失格とする。なお、この場合は再レースは行わずレースは成立したものとす。
- (4) セパレートレーンで行う視覚障害者のトラック競技で、伴走者を伴う競技者にはスタートラインを延長して、1競技者に1つ外のレーンを含む、2レーンを割り当てる。この場合、2レーン内であれば競技者と伴走者が、内側・外側のどちらを走るかは任意とする。
- (5) 全ての競技区分の800mのスタートは、オープンレーンで行う。
- (6) 知的障害者(障害等級1、2度)の800m、1500mでは、伴走者を認める。  
伴走者は声掛けによるコースの指示をしても良い。一人の伴走者が複数の競技者を伴走しても良い。
- (7) 知的障害者(障害等級1、2度)の800m、1500mの伴走者は以下の行為をしてはならない。
  - ・ 手を引くことや背中を押すなど、身体に触れて助力となるような行為。
  - ・ トラックを逆走するなど、他の競技者に対して妨害となったり、混乱を招くような行為。※ ただし、コースアウトするような選手に対しては、助力とならない程度に身体に触れても良い。
- (8) 30m、スラロームのスタートはホイッスルで行う。
- (9) 全ての走競技スタートは出発はイングリッシュコールで行う。

・30m/スラローム: On your marks (位置について)⇒set(用意)⇒ホイッスル合図
・50m~200m: On your marks (位置について)⇒set(用意)⇒ピストル合図
・800m~1500m: On your marks (位置について)⇒ピストル合図

- (10) 本大会においては、不正スタートがあった場合、スタートのやり直しをする場合がある。

(裏面へ続く)

【フィールド】

- (1) 跳躍(走高跳除く)及び投擲競技の試技数は3回とする。また、投擲競技で車椅子、投擲台を使用する区分では原則として3回連続して投げるものとする。なお、車椅子使用者以外の競技者についても、競技運営の関係上、3回連続投する場合がある。  
新型コロナウイルス感染予防対策の観点から主催者側の投擲台の貸し出しは行わない。
- (2) 投擲競技の記録の計測は、競技運営の関係上、3回の試技のうち最高記録のみを計測する場合がある。
- (3) 投擲競技で車椅子および投擲台を使用する場合、競技役員または補助員がそれらを支持しても良い。また、競技運営上、進行に支障がある為、固定の為の器具は使用しないこと。
- (4) ビーンバック投は、砲丸投のサークル(直径2.135m)を使用する。
- (5) 砲丸投への参加は全ての区分において中学生以上とする。

【砲丸重量】	競技区分	肢体1	肢体2		肢体3	視覚	聴覚	内部	精神	知的	健常者 (中学生)	健常者 (高校生以上)
	区分番号	1~9	12	13~15	18~22	24~25	27	29	31	U19A~ O36B	33	33
	男子	4.0kg	2.721kg	4.0kg	2.721kg	4.0kg	4.0kg	4.0kg	4.0kg	4.0kg	5.0kg	6.0kg
	女子	2.721kg	2.721kg	2.721kg	2.721kg	2.721kg	2.721kg	2.721kg	2.721kg	2.721kg	2.721kg	4.0kg

6 表彰について

- (1) 各組単位で、原則として同一区分ごとに1位から3位までにメダルを授与する。  
但し、参加者が少ない場合は下記のとおりとする。
  - ①同一区分の参加人数が3人まで 金メダルのみ
  - ②同一区分の参加人数が4人まで 金、銀メダルのみ
  - ③同一区分の参加人数が5人以上 金、銀、銅メダル
 表彰式は行わない。メダルの授与については、ピロティ内メダル授与場所にて贈呈。

7 介助者について

- (1) 本競技会における介助者とは、応援目的ではなく、競技時の誘導介助、跳躍介助、伴走者とする。
- (2) 選手以外で競技場内に入場できる者は、参加申込書で、区分24・25の跳躍種目介助者、伴走者、誘導介助者と、その他特段の理由により介助者の競技場への入場を申請し、主催者が許可した者のみとし、人数は参加者1名につき1名までとする。
- (3) 原則として、区分番号は10、16、17、23、24、25が対象となる。場合によっては区分番号18が申請対象となる。
- (4) 申請し許可されたものは、介助者は介助者バンド、伴走者は伴走者バンド、誘導介助者は誘導介助バンドを着用すること。また、それらのバンドは競技終了後、各自破棄するものとする。  
※各種バンドは受付時に配布予定。
- (5) 入場を許可された場合でも競技場内での応援、助言、写真、ビデオ撮影、視覚障害で認められた選手以外への伴走行為、競技進行を妨げになるような行動は禁止とする。これらの行為を行った場合は、選手を失格とする場合があるため、十分注意すること。

8 その他

天候事情等により競技開始時間に変更されることがあるので注意すること。